

村政懇談会

道路、環境 議員定数削減

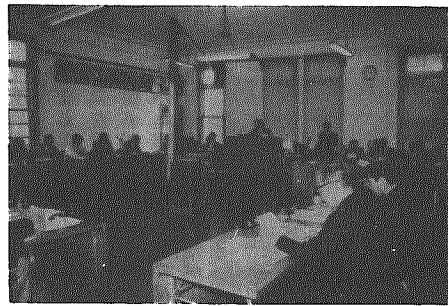
二本木会場でのこん談会

木津会場

農村公園いつ完成する

どんな施設ができるのか

1.農村公園いつ完成か
公園と名がついているのだから公園だと思いが、見るのだから公園だと思いが、見るのだから公園だと思いが...



まずもって議員定数削減を(現在定数22名)

沢海会場

議員定数削減どこでも実施

村長の考えは

1.話しによると、星先生が今年中にやめるといふ。困るのは我々老人で近くに診療所があればよいと考えているが...

2.議員定数の削減がどこでも行われている。村長の考えは、議員は手当になるともろ手をあげて養成しているが...

3.併合事業はできないことになっていて。土政から詳細な話しは聞いていないが、敷幅六尺、舗装幅四尺、路肩それぞれ五〇センチと聞いて、いま不在だが上木津で、酪農家を相手にオカラを売っている人がいる。売れないオカラが敷地内に捨てられ、蚊の発生源で不衛生なわまりない。また敷地内は、雑草が繁茂し春になるとタバコの吸いがらで大きな火事になりかねない。村長命で早期にしかるべき指導を願いたい。

2.前郷の道路が工事中であるが、今年の予算では、半分の舗装がされるというが、一掘に赤道までできないのか。答：今年の予算では、倉庫までとなっている。要望は県にお願ひし、追加を期待しているが、今日このような財政状況では、見通しは暗い。3.ごみ埋立処理場の一角に運動広場を要望している。先日から残土で一部埋立てられているが、年内中に野球場を実現してほしい。答：八月ころまで残土で何とか要望に答えられるよう努力してきたが、地盤が悪く三十センチならすということが不可能で残土だけためておいた。年内中に整地したい。

早く公園施設を(木津農村公園予定地)

藤駒会場

前郷道路舗装

今年中にできないか

答：国税側では農業が複雑多様化してきているので、二三年前から個別課税方式に変えたいといっている。五十七年度からビニールハウスが収入課税方式に、五十八年度から三町歩以上と乳牛五十頭以上の比較的大きい農家を対象に標準課税方式からはずすと...

1.新聞報道によると、農業課税が、いままでの作物と面積による標準課税から実額所得を把握した課税になるといわれているが、来年度から実施するの。答：国税側では農業が複雑多様化してきているので、二三年前から個別課税方式に変えたいといっている。五十七年度からビニールハウスが収入課税方式に、五十八年度から三町歩以上と乳牛五十頭以上の比較的大きい農家を対象に標準課税方式からはずすと...



赤道まで今年中に(工事が進む前郷道路)

整備などに要望が集中

環境整備基本条例制定の意見も出る

広く村民の意見、要望を聞き、今後の村政に反映していくことと、昭和五十七年度村政こん談会が七月十一日から小杉地区を皮切りに、八月一日まで村内六会場で開催されました。

話題の中心は、どこの地区でも道路・排水路の整備、環境衛生の充実、交通安全対策の強化などで、村は「多くの貴重な意見、要望をふまえて、財政事情をみながら計画的にすすめていきたい」と述べていました。

小杉会場

小杉保育所の建設メドは

場所は谷内田に

1.小杉保育所建設のメドは地元は場所を昨年村が買上げた谷内田を考えているが、駐車場を考えると二〇坪では不十分。

1.団地等に雑草が繁茂、自治会では、地主に対して空地の適正管理をすべく手紙でお願いしたが、自治会の力が弱く不十分。早い時期に環境整備条例の策定を。

横越会場

横越村は環境はよいが

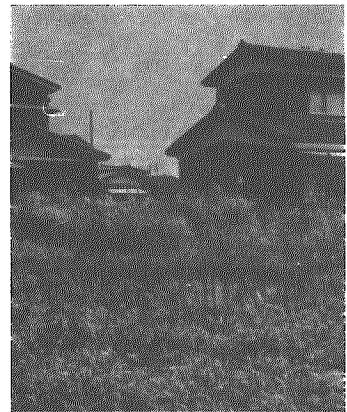
税金が高いのでは

1.川根谷内は、転入者が多い関係で会合等でよく出る話題が、横越村は、環境はよいが住民税が非常に高い」とい。

答：議会報は行政広報とは全く性質がちがう。議会の内容を卒直に、正直に知らせるというところで事務局では書けない。従って議員による編集委員が記事から割付け、レイアウトなどをし、事務局は写真をとる程度。



大型車が曲れるように(小杉入口)



早期条例設置を(雑草が繁茂している団地)

愛の献血にご協力を 9月24日(金)

午前10時〜午後4時 二本木山崎 榎新潟工場